

令和4年度 第3学期 始業式

皆さん、おはようございます。この年末・年始は、割合と天気にも恵まれて穏やかな日が多く、過ごしやすい正月だったと思います。また、暦の関係で例年よりも休みが多く、皆さんにとって有意義な冬休みになったことと思います。生徒の皆さんに大きな事件や事故もなく、無事に始業式を迎えられたことを、たいへんうれしく思っています。今学期も「心身の健康」と「命」の大切さを意識しながら、学校生活を送ってください。

さて、2023年（令和5年）という新しい年が始まり、3学期の始業式を迎えたということは、当然のことながら、あと3ヶ月で今年度（令和4年度）が終了するということです。3学期は、よく「**一年間のまとめの期間**」と「**次のステージの助走（準備）期間**」と言われています。短い3学期だからこそ、皆さんそれぞれが、学校生活の目標を持って欲しいと思います。

特に3年生は、「**高校生活の締めくくりの時期**」になりましたが、これまで本当によく頑張って、深商を引っ張ってきてくれました。深商の制服を着て、登校する日も残り少なくなりました。進路が内定している人も、これからチャレンジする人も、4月からの新たな生活に向けて、残り少ない高校生活を一日一日大切に過ごして、ぜひ、有終の美を飾って欲しいと思います。

この「**有終の美を飾る**」という言葉は、もともとは中国の古典から来た言葉ですが、「最後を素晴らしい結果で終わること」をいいます。使い方としては、たとえば「シーズン最後の試合で逆転勝ちして、有終の美を飾った」というように、スポーツで使われることがよくあるので、テレビなどでも聞いたことがあると思います。「有終の美を飾る」、このような言葉が使われるのは、最後の部分を大切にしようという思いがあるからです。では、なぜ「最後」が大切なのでしょうか。私が考えるのは、「最後の部分」、物事の「終わり」は確実に次の「始まり」につながっているということ、つまり「**終りは必ず次の始まりにつながる**」から大切なのです。

3年生にとっては、3月10日の「卒業式」を控えて、まさに高校生活最後の学期、その「終わり」は確実に4月からの新しい生活の「始まり」につながります。1年生も2年生も、1年間の「終わり」であるこの3学期は、必ず次の学年の「始まり」につながっています。1年生・2年生の皆さんの中には、ひょっとしたら、学校生活にも慣れて、1学期も2学期も頑張ったので、3学期は少しくらい手を抜いても進級できるという思いを持っている人がいるかもしれません。でも、最後の部分で気持ちを、自分の気持ちをしっかりと高められないと、それに続く新しい学年の「始まり」も気持ちが入らないままのスタートとなってしまいます。部活動でも同じかもしれません。これからの3ヶ月は寒い中での活動になると思いますが、これからの3ヶ月をしっかりとやり切ることは、4月に新入生を迎えて新しい活力ある部活動のスタートにもつながります。「終わり」は必ず次の「始まり」につながります。3年生は残り短い時間ではありますが、高校生活を最後までやり切る、1・2年生の皆さんも1年間の最後の学期である3学期をしっかりとやり切る、それが4月からの新しい生活、新しい学年の始まりに確実につながっていきます。

さて、話を変えます。私は、年の初めに決まって思うことがあります。「1年1年が、ますます短く感じられるようになってきたなあ」「去年、何ができたかなあ」「今年は何をしなければならいかなあ」私もこれまでを振り返り、今を見つめ、これからを案じ、自分に与えられた時間や使命を再確認して、今年の抱負に思いを巡らせています。

ある本に、こんな内容が書かれていました。「人は、年齢を重ねるごとに、1年が徐々に短く感じられるようになっていく。感じる時間の長さを、『年齢分の1年』という分数で計算したときの数値で考えると、10歳では、10分の1年、20歳では、20分の1年、50歳では、50分の1年となる。つまり、その数値は年々減っていく。50歳を例にあげると、10歳の5倍、20歳の2.5倍という時間の速さを、感じることになる。」

また、こんな言葉も目にしました。「子供の頃は、一日は短く、一年は長い。大人になると、一日は長く、一年が短い。熱中した時間・幸せな時間は短く感じ、退屈な時間・不幸な時間は長く感じる。」時間は、とても大切なものですが、時々、時間にルーズな人を見かけます。時間を粗末にすることは、自分自身の成長を粗末にしていることと同じです。皆さんがこれから経験する社会生活は時間にはとても敏感で、時間を守れない人は必ず信頼を失います。私たちには、等しく24時間という時間が与えられています。時間をどう有効に活用するかによって、人としての生き方に関わってくると思います。「**時間は、かけがえのない財産**」であることに気づき、自分の幸せにつなげてください。高校生として与えられた時間は、たったの3年間です。

ある本でこんなフレーズを目にしました。「**いつまでも、あると思うな、時間とチャンス**」ぜひ、時間を大切にするとともに、目の前のチャンスを逃さず掴んで欲しいと思います。

最後です。年末年始のニュースを見ていると、コロナ感染者数は相変わらず多い状態が続いています。私たちは、健康観察や感染予防をきちんと行なって、感染におびえるのではなく、出来ない事を考えるのではなく、萎縮することもなく、毎日自分がやるべきことにしっかりと取り組みましょう。

結びに、この新しい年を健康で過ごし、皆さんにとって良い年となるよう、そして皆さん自身で良い年にすることを願って、3学期始業式の講話を終わります。